

Uganda便り⑦ ~ウガンダから~

2017. 11. 23
青年海外協力隊 田中美千恵

こんにちは。協力隊の任期は2年間のため私の任期も終わりに近づいてきました。(残り約1ヶ月です) ウガンダは、1月から新しい新年度(1学期は2月からはじまります)になるため、今年度は12月の1週目で終わり、約2ヶ月ほどの学期休みに入ります。とは言うものの11月中旬には半分以上の生徒が自宅へ帰っていき、11月下旬には全ての生徒が自宅へ帰って行きました。なぜ予定より早く終了したかという、11月中旬から最終学年は国が行っている卒業試験がありました。この試験は約2週間かけて実技や理論、英語や数学などが行われます。各学校の各教室が試験会場となるのでその他の学年は授業ができません。その為、国家試験を受けない生徒は予定よりも約1ヶ月早く3学期が終わりました。

第7回目の便りでは今までの活動について紹介したいと思います。

その前に・・・
～生徒～

便り⑤で服飾科の生徒の人数を紹介しましたが、途中入学や休学などがあり、2学期・3学期(3学期は9月下旬～11月下旬)と生徒数が変わっていききました。1学期末は20名の生徒でしたが3学期末に34名(男子生徒3名・女子生徒31名・・・14名増加)となりました。今年も3学期から入学してくる生徒が数名いました。また今年は、特別なコースが12月から(3～4ヶ月のコース)があるようです。

コース 学年	2年コース	3年コース	1年コース
1年生	3人 → 8人	2人 → 6人	6人
2年生	4人	8人 → 7人	
3年生	—	3人	

昨年は無かった
1年コースが
今年ありました!!

～授業～

1年目は主にウガンダの先生の授業サポートを行い、私がメインで授業受け持つのは週2～3日と少なかったのですが2年目は生徒が増えた事などから1クラスの担任をし月曜から金曜の全ての授業を受け持ちました。授業では制服やパンツ、ワンピース、シャツ等を製作しました。



授業で役立てれるようにと、実物サンプルを製作し壁にかけいつでも見れるようにしたりもしました。生徒だけでなく、先生も興味を持って見てくれていました。



(ポケットの壁掛け用参考サンプル (卒業パーティー用に生徒がデザイン・製作したドレス))

～裁縫クラブ～

生徒の空き時間や放課後、土日（多くの生徒が寮で生活しているため土日も開催しました）を利用して小物製作・販売を行いました。

製作アイテムは、髪飾りのシュシュ、ブックカバー、ポーチ、コースター、ネクタイ、エプロンなどで、服飾科の3分の2ほどの生徒が参加してくれました。

製作したアイテム



製作した生徒へは、労働の対価として生地を配布しました。生徒はスカートを作りたいから、ポーチを〇個作る。と意気込んでくれたりしました。最初は1箇所縫ったら私がチェックするようにしていましたが、作り慣れてくると、生徒はコツをつかんで私が何も口を出さなくても綺麗に仕上がるようになりました。ただ、初めに何度もやり直しをさせていたら途中で投げ出してしまう生徒もいました。

1番コツコツと続けていた生徒は生地を沢山受け取り、自分用にワンピースやスカートを作ったり家族のためにシャツ等を空き時間を利用して、20着以上のアイテムを製作していました。

(生徒の作品の一部)



小物製作・販売を通して得た利益は、服飾科の生徒と先生で首都へ縫製工場、生地や服飾用具を売っているお店、服や小物を売っているお店等を見学するツアーの費用として使用しました。学校は小さな町（私の家族に学校のある任地の町の風景写真を送ったら、村やん。と言われてしまいました・・・）にある為、生地等もほとんど売っていき実際に見て学ぶ事が難しい状況にありました。また、学校は首都から2時間弱の場所ですが「初めて首都に行った。」という生徒も多くいました。生徒は手織りの生地作り、学校にはないタイプのミシンなど、初めて見るものが沢山あり、楽しみながら学べたようでした。また色々なデザインを見れた事で、想像力も膨らんだようでした。ツアー中にもあのデザインで今度作りたい。とメモをしていたり、制作方法について一緒に考えながら見る事ができました。また、メモしてきたいくつかのデザインを参考にしながら生徒が製作したいものを見学後の授業で実際に作ったりする事もできました。

(手織り生地)



(ミシン体験)



(生地屋さん)



(みんなでランチ)



利益の一部は服飾科以外の8つの科に分配しました。どの科も授業に使う資材が不足しているとのことで、それぞれに必要な資材等の購入費用にあててもらいました。

(配管科)



(ブロック&レンガ科)



残りわずかな任期ですが、私が居なくなっても生徒や先生が授業で活用できるような資料をまとめたり実際にサンプルを作るなど活動のしめくくりをしていきたいと思えます。

読んで下さりありがとうございました。